

F-9 企業と消費者のコーディネーション・システムに関する総合的研究(その3)

杉野女子大家政横山光子, 相模女大家政山崎進; 木村静枝, 和洋女大家政  
酒井ノブ子, 大妻女大家政青木宏, 共立女大家政松島千代野, 東京文化短  
大松岡明子, お茶の水女大家政犬塚伝也

目的 日本家政学会家庭経営研究委員会「H E I B 研究部会」は文部省学術国際局の昭和5/

年度科学研究費「総合研究A」の助成を受け「企業と消費者のコーディネーション・システムに関する総合研究—H E I B (Home Economists In Business) の実態調査と育成—」をはじめた。本研究はその一環として日本全国の都道府県レベルでの消費者センターで活躍している職員等についての実態調査であり, 就中, 家政学出身者(Home Economists)の活動状況を浮きぼりにしようとするものである。方法としては, 経済企画庁編「地方消費者行政」大蔵省印刷局, 国民生活センター編「全国消費者生活センター名簿」等を参照して, 日本全国の都道府県レベルでの消費者センター99の全数を対象にして, そこに働く職員等約1000名に対して郵送法による~~悉~~皆調査を行った。調査項目としては①所属機関名②所在地③電話番号④氏名⑤性別⑥年齢⑦地位⑧常勤, 非常勤⑨業務内容⑩最終学歴⑪専攻分野⑫現職を選んだ動機⑬現職に対する満足度⑭不満の要因⑮結婚の有無⑯子供の有無⑰現職の就業年数⑱現職に就業した時の年齢(初任, 再任)⑲現職以外の職歴の有無⑳その職歴と年数㉑現在の立場から大学や養成所に対してカリキュラムその他で具申したい事柄や希望があれば具体的にお書き下さい(例えば役立った科目, 取入れてほしい科目, 卒業後どんな勉強をしたかなど...)問⑳H E I B の存在意義と今後の可能性について㉒これからの家政学のあり方について, (婦人の職業とあわせて)㉓仕事をしていく上での意識について(例えば消費者運動とセンター職員との関係など...)等についてアンケート調査を行いIBMカードにinputし単純集計, クロス集計, 多次元集計を行う。